



# 稲高だより

静岡県立稲取高等学校

令和8年2月20日

第11号（通算188号）

まこと いっくしみ つとめる  
「誠 愛 力」

## 探究発表会（1年）

1月29日（木）、2月12日（木）インターンシップの報告発表会を行いました。生徒たちは職場体験を通して学んだことや感じたことを自分の言葉で発表し、「働くことの大変さを実感した」「将来の進路を考えるきっかけになった」など、貴重な経験を紹介してくれました。今回の発表会は、生徒一人ひとりが成長を実感できる良い機会となりました。



## スーツ着こなし講座（3年）

1月21日（水）卒業を控えた3年生を対象にスーツ着こなし講座を行いました。社会に出る準備として、スーツの選び方や着こなしの基本を学びました。自信を持って新生活を迎えて欲しいです。

## 令和8年度 前期生徒会選挙

2月4日（水）令和8年度前期の生徒会選挙が、選挙管理委員長山田悠花さん（22HR稲取中）を中心に行われました。結果、現在の生徒会長である稲葉花楓さん（22HR河津中）、副会長は桑原七海さん（21HR稲取中）、松永亜衣徠さん（13HR下田中）が選ばれました。



### 生徒会長 22HR 稲葉 花楓さん（河津中）

私は前期の生徒会長の経験を活かし、後期も頑張りたいです。前期の活動を通して、学校をより良くしていくためには、ただ意見を集めるだけでなく、その声をどのように行動へつなげていくかが大切だと学びました。後期は、今の生徒会に何が必要なのか、そして自分に何ができるのかを真剣に考え、より良い学校づくりに取り組んでいきます。

## 静岡県高等学校新人体育大会

### 女子バレーボール部 22HR 石坂 美海さん（南伊豆東中）

私たち女子バレーボール部は、東部予選でベスト4に入り、県大会に出場しました。県大会では、稲取高校史上最高成績であるベスト16という結果を残しました。4月に行われるインターハイ東部予選では地区優勝を目指し、県大会ではこれまで以上の最高成績を残したいです。そのために、伝統であるレシーブ力だけでなく、様々なコースに打ち分けるスパイクの技術を磨き、目標に向かって勝ち進めるよう頑張ります。応援よろしくをお願いします。



### 男子バレーボール部 21HR 板垣 匠真さん（河津中）

私たちは東部地区1位を目指して日々練習に励んできました。試合では少し緊張もありましたが、これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮できたと思います。結果は5位でしたが、優勝したチームに対しても引けを取らず、自分たちらしいバレーができました。次の大会ではそのチームに勝てるよう、これからも日々練習していきます。



## 進路ガイダンス（1年）

2月5日（木）5・6時間目を利用して1年生の進路ガイダンスが行われ、進路希望に合わせて学校別説明会を3講座選択して聞くことができました。今回のガイダンスで自分の進路目標のイメージを深めて頑張りたいです。



## ライフプラン講座（3年）

2月5日（木）2時間目、将来の生活設計やお金の使い方について正しく理解し、社会人として自立した生活を送る力を身につけることを目的に、マネーライフプラン講座を実施しました。



## 第57回 マラソン大会

2月13日（金）爽やかな冬空の下、クロスカントリーにてマラソン大会が行われました。コースには、お互いを励まし合う温かい声援が飛び交い、生徒たちは最後まで全力で走り抜きました。当日の運営には、PTAの皆さま、そして3年生有志がサポートしてくれ、大会を大いに盛り上げてくれました。

男子				女子			
1位	12HR	武口	陸斗さん（河津中）	1位	12HR	宮下	文乃さん（稲取中）
2位	23HR	大川	琉陽さん（下田中）	2位	23HR	佐久間	結渚さん（下田中）
3位	13HR	増田	爽祐さん（下田中）	3位	23HR	里中	未来さん（南伊豆中）
4位	22HR	中村	亮太さん（下田中）	4位	13HR	金指	結衣さん（稲取中）
5位	22HR	土屋	朋慶さん（下田中）	5位	21HR	後藤	蓮奈さん（河津中）



### 男子1位 12HR 武口 陸斗さん（河津中）

私は長い距離を走ることが好きだったため、今年のマラソン大会で1位を取ることを目標にしました。悔しい思いをしないよう、部活動や体育の授業に力を入れ、毎日練習を積み重ねて走り方を磨いてきました。その結果、マラソン大会で1位になることができ、自分にとって大きな自信につながりました。この結果に満足することなく、これからも何事にも全力で取り組んでいきたいです。



### 女子1位 12HR 宮下 文乃さん（稲取中）

高校に入って初めてのマラソン大会。走る前は「6キロも走らなきゃいけないのか」と前向きになれませんでした。いざ走ってみると沿道からの声援が力になり、最後まで走り抜ことができました。ただ、今回のマラソンを通して自分の体力のなさを改めて実感したので、これから体づくりを励み、来年はもっと良い走りができるよう頑張りたいです。

